

OPI から見た「話題」と「語彙」の関係

橋本 直幸(首都大学東京)[†]

1. はじめに —— 研究の目的

- ・日本語学習者の使用実態を反映した日本語教育用語彙リストを作成するための基礎資料として、OPI データを利用する（その可能性を探る）。

【日本語教育用語彙リストの研究】

- ・橋本（2008）日本語教育スタンダードのための語彙リスト
- ・橋本（2009）大規模コーパスを利用した教育用語彙リスト
→いずれも、学習者の使用実態について客観的なデータを使用していない。

2. OPI データを用いることの利点

- (1) 「話題」が把握しやすい。
- (2) 話題別にする事で「使用語彙」の実態が把握しやすくなる。

2.1 「話題」が把握しやすい

- ・目指す語彙リストのかたち → 話題別・レベル別分類語彙表
- ・OPI における「話題」の位置付け
 - 「総合的機能・タスク」を支える三つの柱（「場面／話題」「テキストの型」「正確さ」）の一つとして、位置付けられている。
 - 「場面」に比べ、「話題」は概念が曖昧であるが¹、テスター間で一定の共通認識がある。

被験者がある話題について目標言語で話ができるレベルが、ほかのさまざまな話題にわたっても維持できるかどうかを確認するために、OPI ではいくつもの話題をとりあげることが重要である。

(『ACTFL-OPI 試験官養成マニュアル』 p.65、下線 発表者)

2.2 話題別にする事で「使用語彙」の実態が把握しやすくなる

- ・話題差、個人差による使用語彙のばらつき → 語彙習得研究の壁

[†] nhashi@tmu.ac.jp

¹ 『応用言語学事典』（2003年、研究社）「話題シラバス」の項：このシラバスは一般の学習者にはわかりやすいことから、多くテキストやコースブックのシラバス・デザインに採用されているが、言語学者や言語教育者からは問題点が指摘されている。White（1988）は、多くの言語学者がこのシラバスは理論以前（pretheoretical）であると批判していると述べた上で、「話題」という概念があいまいであり、科学的検討の対象とはなりえないと述べている。（p.95）

山内 (2004)

機能語の出現は、話題に左右されることはほとんどないだろうが、実質語の出現は話題に大きく左右される。〈中略〉つまり、実質語の習得研究を行う場合には、様々な話題が網羅されるように、相当多くのデータを集めなければならないということである。

データ数と異なり語彙的形態素数の関係 (山内 2004, p.157 表 11)

データ数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人	11人	12人
異なり語彙的形態素数	137	202	281	318	336	364	382	411	422	446	467	478

〔仮説〕

個別の語の出現を見るのではなく、語の所属する意味分野の出現を見る。

→それぞれの話題のタスクを達成するのに必要な語の意味分野が明らかになる。

学習者の使用語彙の実態が把握しやすくなる。

3. 話題別・意味分野別に見た実質語の使用実態

3.1 方法

- ・ OPI データ²の中から、ある話題のサンプルを集め、そこで使用されている実質語に『分類語彙表』の中の適当な意味分類番号を付与する。
- ・ ある程度まとまった話題が扱える中級から上級データを対象とする。

3.2 『分類語彙表』の説明

国立国語研究所 (2004) 『分類語彙表 一増補改訂版一』

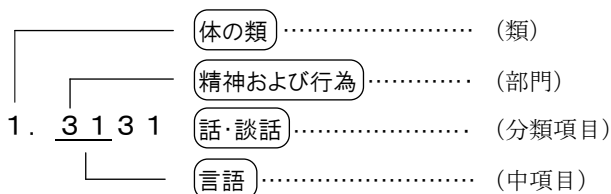
<分類項目>の例

1 体の類	2 用の類	3 相の類
1.3 人間活動-精神および行為	2.3 精神および行為	3.3 精神および行為
1.30 心 1.3000 心 1.3001 感覚 1.3002 感動・興奮 1.3003 飢渴・酔い・疲労・睡眠など	2.30 心 2.3000 心 2.3001 感覚 2.3002 感動・興奮 2.3003 飢渴・酔い・疲労・睡眠など	3.30 心 3.3000 心 3.3001 感覚 3.3002 感動・興奮 3.3003 飢渴・酔い・疲労・睡眠など

1 体の類
2 用の類
3 相の類
4 その他

.1 抽象的關係
.2 人間活動の主体
.3 人間活動-精神および行為
.4 生産物および用具
.5 自然物および自然現象

<分類番号の構造>



² KY コーパス、『ACTFL-OPI 入門』収録データ、『インタビュー形式による日本語会話データベース』収録データ (非母語話者)、および個人的に採取した OPI データを利用した。

3.3 話題「料理」「スポーツ」で使用される語の意味分野とその使用実態

表1-a 話題「料理」におけるデータ数と異なり意味分野数の関係

データ数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人
異なり意味分野数	28	58	70	74	81	81	87	87	88	89
新しく追加される意味分野数		30	12	4	7	0	6	0	1	1

表1-b 話題「スポーツ」におけるデータ数と異なり意味分野数の関係

データ数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人
異なり意味分野数	9	32	60	74	86	89	95	97	102	103
新しく追加される意味分野数		23	28	14	12	3	6	2	5	1

表2-a 話題「料理」頻出意味分野と語例

意味分野	延べ使用度数	データ数	語例
.4330 調味料・こうじなど	25	9	塩、酢、醤油、味噌、ソース…
.4310 料理	17	8	中華料理、ラーメン、スープ…
.5050 味	17	8	味、味わう、おいしい…
.3842 炊事・調理	14	8	料理、作る、味付け…
.5402 草木	10	5	人参、ピーマン、じゃが芋…
.1532 入り・入れ	9	9	入れる
.1962 助数接辞	8	7	～分、～時間、～cc
.4323 魚・肉	8	6	肉、牛肉、豚肉、手羽先…
.1920 程度	7	5	一番、とても、適当…
.4520 食器・調理器具	7	5	お皿、鍋、ナイフ…

表2-b 話題「スポーツ」頻出意味分野と語例

意味分野	延べ使用度数	データ数	語例
.3374 スポーツ	21	10	サッカー、野球、試合、ゲーム、オフサイド
.1962 助数接辞	16	8	～分間、～人、～マイル…
.3570 勝敗	10	9	勝つ、勝ち、あいこ
.1940 一般・部分・全体	10	8	全部、すべて、部分…
.4570 遊具・置物・像など	10	8	ボール
.2200 相手・仲間	8	7	相手、敵、チーム
.2010 われ・なれ・かれ	8	7	私、みんな、誰…
.2450 その他の仕手	7	4	選手、ゴールキーパー、コックス
.3392 手足の動作	7	5	持つ、打つ、投げる…
.1742 中・隅・端	7	5	中、真ん中

(「程度」、「入り・入れ」も度数7)

3.4 まとめ

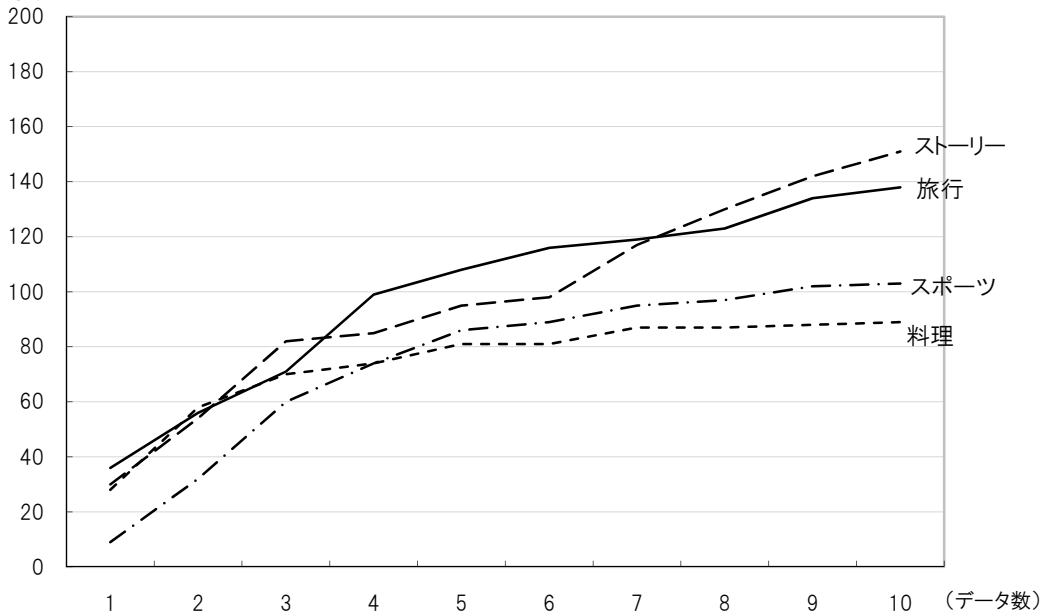
- ・語の意味分野を指標とすることで、その話題で共通して用いられることの多い意味分野が明らかになる。話題別・レベル別分類語彙表を作成する際の手掛かりとなる。また、指導の際にも個人差

を考慮しつつ、かつ、必要な語を教える目安となる。

4. 問題点 — 語のまとまりが見られない話題

- 同じく中級～上級で扱われることの多い「ストーリー説明（映画、本など）」「旅行」などは、内容によって使用される語（とその所属する意味分野）が異なり、必要な意味分野を特定することができない。
- 同じレベルのタスクであっても、話題の内容によって求められる能力が異なる（タスク達成において実質語の果たす役割に違いがある）。

（異なり意味
分野数）



グラフ1 話題別・データ数と異なり意味カテゴリー数の関係

【参考文献】

- 国立国語研究所（2004）『分類語彙表 増補改訂版』大日本図書。
- 橋本直幸（2008）「日本語教育版分類語彙表作成の試み」、山内博之（編）『日本語教育スタンダード試案 語彙』pp.9-91、ひつじ書房。
- 橋本直幸（2009）「BCCWJを利用した日本語教育語彙リスト作成の試み」、特定領域研究「日本語コーパス」平成20年度公開ワークショップ（於 東京工業大学）、予稿集 pp.183-190。
- 牧野成一（監）（1999）『ACTFL-OPI 試験官養成マニュアル』。
- 山内博之（2004）「語彙習得研究の方法 —茶釜とNグラム統計」『第二言語としての日本語の習得研究』7、pp.141-162、第二言語習得研究会。